



NPO PTPL “ともいき” 便り No.9

■立秋（りっしゅう）号（2012年8月7日発行）

- 8月7日（火）は立秋。8月7日（火）から8月22日（水）までの16日間は立秋の節気です。立秋の日から暑中見舞いは残暑見舞いになります。
- 「秋立つ」とはいえ、実際には30°C以上の真夏日と25°C以上の熱帯夜、蒸し暑い、寝苦しい毎が続きます。
しかし、この頃からふと日差しにやわらぎを感じたり、虫の鳴き声の変化や草木の様子に、雲の型と動きに、夕方の涼風に、秋の気配が漂うのを感じたりするようになります。日暮れの時間が徐々に早くなるのを体感する時季でもあります。
- 夏の蒸し暑さに閉口、もうお手上げ、これ以上、我慢できません。早く朝風、夕風を感じたいという願いが、立秋には籠められているように感じられます。
- 「秋立つ」というのは「極まれば終わる」「極まれば萌す」、つまり、「夏極まれば秋萌す」という意味と、暑さの中に少しでも秋の気配（秋の先触れ）を早く感じたいという気持ちの現れではないでしょうか。秋とはいえ、まだまだ暑い盛りですが、人々は暑さも峠を越えるという安堵感をこの言葉に抱きます。

◎気になっていること

- 都心のセミの鳴き声がいつもの年に比べ、小さいように感じます。近くの公園でも、脱ぎ捨てられたセミの殻が、そのまま木の幹にとまっている空蟬もあまり見られません。チョウチョ、トンボ、カエル、ハチ、テントウムシ、バッタ、ヤモリなどの小動物に会うことも例年より少ないように感じます。人間の生活に寄り添って生きてきたスズメ、ツバメも少ないように感じます。このように感じるのは私だけでしょうか。
- 街はコンクリートとアスファルトで覆われ、高層ビルが乱立し、風の道もなく、街から自然がどんどん遠のいていきます。われわれ人間が生活する場所

にも都会なりの生物多様性の回復が必要です。われわれは紛れもなく自然の一部なのでから。

- われわれは脱生物化を計り、人間生活活動圏をつくり、自然を追いやり、ガラスとコンクリートと鉄の箱の中で生活し、周囲は人工物だけです。都会とはいえ、最低の生物多様性の中で生活することが望ましいのです。

都会であっても、自然が近くにある生活、それは人間の精神的安定と人への、自然への思いやり、いたわり、やさしさの育成に欠くことができないのではないのでしょうか。

◎この時期の二つの花、一服の清涼剤。

- 茉莉花（マツリカ・ソケイ・ジャスミン）

夏から秋にかけて、直径2～3センチぐらいの真っ白い花を咲かせ、芳香を放ちます。とてもとても柔らかな、いい匂いがします。

熱帯地方の原産なので、東京で冬を越すことは難しく、私は鉢植えで育て、冬になると家の中の陽のあたる場所に置きかえます。

乾燥させた花をウーロン茶に混ぜたり、生花を緑茶に混ぜてジャスミン茶として、花の咲くこの時季、楽しみます。

（東南アジアの仏教国では、その花の白さは仏陀の歯の白さに、例えられて、その芳華は仏国土の香りと讃えられています。）

- 露草

夏から秋にかけて、どこにでも見られる雑草ですが、朝露を含んだ青紫の小さな花には、みずみずしい美しさがあります。花は夜明けとともに開いて、昼にはしぼむ半日花です。

徳富蘆花はこの半日花をこう表現しています。

「花ではない。あれは色に出た露の精である。」と。

私の家のあまり陽のあたらない場所に、今の時季になると青紫の小さな花をたくさん咲かせます。

朝、冷たいお茶でも、温かいお茶にでもこの花を混ぜて涼を呼ぶ楽しみを味わっています。

- 花や木をただ観賞、観察するだけでなく、使用、利用方法も、いろいろ考えると楽しいものです。

◎ “ともいき暦” より。

“ともいき暦” (<http://tomoiki.tv/calendar/>) の表紙、立秋の節気16日間の○印とお盆の緑色の横棒線をクリックして映像や解説文に親しんでください。

立秋の初侯（第37侯）、次侯（第38侯）、末侯（第39侯）の映像もお楽しみください。

●私は夕方の涼風の立つ頃、「カナカナカナ」と響きのある声で鳴く蝸（ひぐらし）の声を聞き、秋はもうそこまで来ているのを感じました。

◎雑感

▲まだまだ暑い毎日。しかし、私たちが生活しているそこかしこに秋の先触れを感じます。ホッとする日が待ち遠しいですね。

▲2012年ロンドンオリンピックもあと一週間。日本人選手の活躍に、翌日のことも考えず、夜中テレビで観戦、応援、一喜一憂。

▲政治、経済の停滞、さらなる劣化。

▲広島、長崎原爆の日、そして終戦記念日。原子力の平和利用とは。

▲エネルギー、脱原発、沖縄問題。

▲4つのプレートがぶつかり合い、活断層がひしめく国、日本。自然災害の多発。台風シーズン近し。注意。

▲お盆という先祖の霊を祀る仏事、習慣を大切に。

お盆休みに遠く離れている家族、近くの家族が集まり、先祖、祖父母、両親を偲び、うちとけ合う貴重な時間を体験する4日間です。

勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局便り

◎タピラス体操の出前を計画中。

NPO PTPL 事務局では、以前からご案内しています「タピラス体操」を振り付けの北村智晃さんの協力を得て、子どもたちに広めるために東京エリアを中心に outward 向き子どもたちと一緒に踊ろうと呼び掛けをしています。

お知り合いに、幼稚園や保育園などがありましたら、ぜひ、事務局までご連絡ください。お待ちしております。

※タピラス体操はこちらをご覧ください。

<http://www.youtube.com/watch?v=9RdZpfm83ac>

◎当 NPO 理事のすとうあさえさんが展開しているブログをご紹介します。

①柴犬まる的七十二侯散歩：<http://ptpl-maru72.seesaa.net/>

②ひなたぼっこばなし：<http://asae-hinatabokko.seesaa.net/>

ぜひ、ご覧ください。

◎事務局には大小50以上の鉢があります。この暑さで、鉢の植物たちへの水やりも一仕事です。今年は東京も雨が少なく、夕立もほとんどありません。九州などの雨被害に遭われている地域の方々には申し訳ありませんが、雨が降ることを期待する日々です。

◎ 個人・法人会員募集中です。

NPO 活動を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

お知り合いの方がたにも、ぜひ会員への参加をご案内、ご推奨いただきたいと思いますと考えております。

◎ “ともいき” 便りは、基本的に郵送しておりますが、お知り合いの方にメールなどで配信ご希望の方は、事務局までお知らせください。テキストデータでお送りします。

◎ 皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしております。

最後に、暦のうえでは立秋とはいえ、まだまだ暑い日が続きます。皆さま、くれぐれもお身体ご自愛ください。

■ お問い合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒108-0073 東京都港区三田 2-21-11 パークハイム三田 103 号

電話：03-6436-0335 FAX：03-6436-0337 Email：info@plantatree.gr.jp